

gnome の注意点

```
gdmsetup
```

この画面のセキュリティタブの

```
TCP 接続を禁止する
```

にチェックが入っていると X 転送が出来なくなる。
ただし、SSH の X 転送とは無関係。

ファイルマネージャ

```
nautilus --no-desktop --browser
```

でファイルブラウザが起動できる。

Input Method(IM) について

scim の場合

https://wiki.archlinux.org/index.php/Smart_Common_Input_Method_platform_%28%E6%97%A5%E6%9C%AC%E8%AA%9E%29

リモートのアプリケーションに対して、ローカルの IM を使用する場合

```
export GTK_IM_MODULE="scim"
```

だけでも大丈夫だけど、

```
export XMODIFIERS=@im=SCIM
export GTK_IM_MODULE="scim"
export QT_IM_MODULE="scim"
```

または

```
export XMODIFIERS=@im=SCIM
export GTK_IM_MODULE="scim-bridge"
export QT_IM_MODULE="scim-bridge"
```

```
export QT_IM_MODULE=scim
export XMODIFIERS=@im=SCIM
export GTK_IM_MODULE=scim-bridge
```

などのように環境変数の設定が必要。

```
X11 connection rejected because of wrong authentication.
```

って出ることがある。特に問題無く scim が使えているのだけど気になる・・・。

ibus の場合

```
ibus-daemon -d -x
```

でデーモンを起動して、環境変数を以下のように設定する。

```
export GTK_IM_MODULE=ibus
export XMODIFIERS=@im=ibus
export QT_IM_MODULE=ibus
```

xming-terminal.sh

```
#!/bin/bash
ibus-daemon -d -x
export GTK_IM_MODULE=ibus
export XMODIFIERS=@im=ibus
export QT_IM_MODULE=ibus
gnome-terminal
```

のようなシェルを作成しておくとも良いかも。

ibus の設定画面は

```
ibus-setup
```

で表示できる。Mozc の設定画面が表示されない場合は以下のコマンド表示することができる。

```
設定画面
/usr/lib/mozc/mozc_tool --mode=config_dialog
辞典ツール
/usr/lib/mozc/mozc_tool --mode=dictionary_tool
単語登録
/usr/lib/mozc/mozc_tool --mode=word_register_dialog
```

また、

```
WARNING **: Couldn't connect to accessibility bus: Failed to connect to socket /tmp/dbus-xxxx
```

のようなワーニングが出る場合は

```
export NO_AT_BRIDGE=1
```

を定義すると消える。

im の優先順位変更 1

環境によっては、日本語入力の IM が優先になっていないために日本語入力ができない場合がある。

```
ibus-setup
```

でショートカットを指定するか、日本語入力以外の IM を消す

im の優先順位変更 2

設定を書き換えることで IM の優先順位を変更できる。

```
dconf dump /desktop/ibus/general/
```

で

```
preload-engines
```

を確認。優先順位順を dconf write で書き込む

```
例 1 dconf write /desktop/ibus/general/engines-order "['kkc']"
      dconf write /desktop/ibus/general/preload-engines "['kkc']"
例 2 dconf write /desktop/ibus/general/engines-order "['mozc-jp', 'xkb:jp::jpn', 'xkb:us::eng']"
      dconf write /desktop/ibus/general/preload-engines "['mozc-jp', 'xkb:jp::jpn', 'xkb:us::eng']"
```

im の優先順位変更 3

dconf が使えない場合、gconf しか使えない場合は

```
gconftool-2 --set /desktop/ibus/general/preload_engines --type list --list-type string "[mozc-jp]"
```

で変更可能。

SSH で使う場合の例

.bashrc の最後に以下を加える

```
if [[ "${SSH_CONNECTION}" ]]; then
  export GTK_IM_MODULE=ibus
  export XMODIFIERS=@im=ibus
  export QT_IM_MODULE=ibus
  export NO_AT_BRIDGE=1
  ibus-daemon -d -x
fi
```

SSH の経路を使わない (xauth を使う)

1 . [画面取得側] 設定

```
xauth list
```

でクッキー確認。

もし、設定されていないならば

```
xauth generate isplayname protocolname オプション
```

で作成する。例えば

```
xauth generate localhost:0
または
xauto generate xxx.xxx.xxx.xxx:0 . trusted
```

など。ディスプレイ名は基本的に DISPLAY 環境変数と同じで OK。

2 . [画面送信側] 画面の表示を X サーバーに設定

1 . で確認したクッキを追加

```
xauth add 画面取得側 :0 MIT-MAGIC-COOKIE-1 00112233445566778899aabbccddeeff
setenv DISPLAY 画面取得側 :0
```

その後

```
xeyes
```

などで画面が飛ぶことを確認。

SSH の経路を使わない (xhost を使う)

1 . [画面取得側] 設定

Fedora5 以降は初期設定では X の画面取得をしない設定になっているので
/etc/gdm/custom.conf
に設定が必要。 gdmsetup でも可。

```
[security]
AllowRemoteRoot=true
```

2 . [画面取得側] X サーバーへのアクセス許可

```
xhost 画面送信側 IP
```

3 . [画面送信側] 画面の表示を X サーバーに設定

```
setenv DISPLAY 画面取得側 IP:0.0
```

その後

```
xeyes
```

などで画面が飛ぶことを確認。

SSH の経路を使う

1 . [画面送信側]

xauth がインストールされていること。
/etc/ssh/sshd_config

```
XForwarding yes
```

となっていることを確認

2 . [画面取得側]

/etc/ssh/ssh_config か ~/.ssh/config

```
ForwardX11 yes
```

となっていることを確認
または、

```
ssh -X オプションを使う
```

ディスプレイ番号を 0.0 以外にする場合

teraterm や Linux などの SSH を使う場合にディスプレイ番号を変更したい場合は

```
環境変数 DISPLAY
```

を設定すれば、そのディスプレイが適用される。
例えば、Linux の場合は

```
export DISPLAY=localhost:3.0  
ssh hoge -X
```

teraterm の場合も

```
set DISPLAY=localhost:3.0  
ttermpro.exe
```

3 . [画面取得側] 画面送信側へ SSH でログイン

SSH でログイン前に、DISPLAY 環境変数を確認。

```
DISPLAY=localhost:0.0
```

とかになっているかを確認する。
ログイン後、環境変数の DISPLAY を確認 (10.0 以上くらいになっているはず)。

```
xeyes
```

などで画面が飛ぶことを確認。

xauth でエラーが出る場合

```
ForwardX11Trusted yes
```

または、

```
ssh -Y xxxx
```

でフルアクセス許可することで回避できる

sudo で X の画面を表示する

http://d.hatena.ne.jp/suzumura_ss/20090714

```
sudo xeyes
```

などすると画面が表示されない。sudo で X の画面を表示するには

```
sudo XAUTHORITY= /.Xauthority コマンド
```

とする。